

超速硬軌道用プレパックド注入材 **バラストパッカー**

超速硬軌道用プレパックド注入材 バラストパッカーとは

鉄道軌道のバラストに充填するグラウト材であり、短時間で強度が発現し、充填性に優れています。

バラストパッカーの特長

1. 充填性に優れています。

流動性が高く、わずかな隙間に隅々まで充填できます。そのため安定した強度のコンクリート道床ができあがります。またバラスト道床の長寿命化に貢献します。



カント対応試験モデル

2. 短時間で実用強度が発現。

超速硬グラウト材であるため、注入後2時間で $10\text{N}/\text{mm}^2$ 以上の実用強度が得られます。よって大幅に徐行運転期間を短縮でき、早期通常営業運行が可能となります。

※プレパックドコンクリート注入率約45%の場合

3. 長期に渡って安定した強度を発現します。

バラストパッカーは長期強度も安定しており、施工後のメンテナンス費用削減につながります。



充填状況



荷姿/25kg袋

配合例

水/ バラストパッカー (%)	単位量 (kg/m ³)	
	バラストパッカー	水
20	1775	355

水/ バラストパッカー (%)	1袋あたりの配合量 (kg)	
	バラストパッカー	水
20	25	5.0

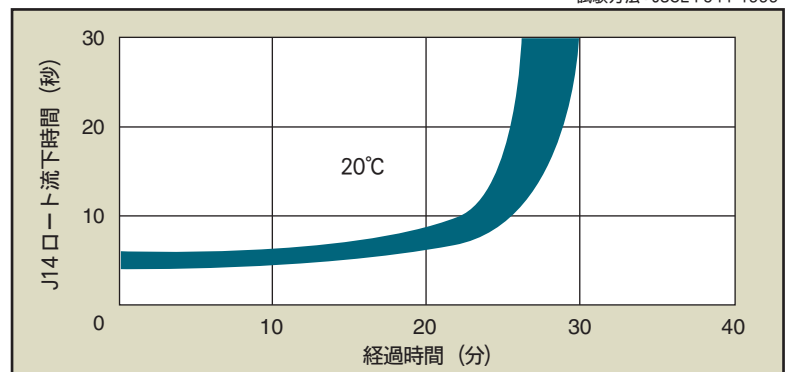
※1袋あたりの出来上がり量 14.1ℓ

※使用条件によって、流動性は変動する場合があります。使用する前に必ず試し練りを行って下さい。

物性値例

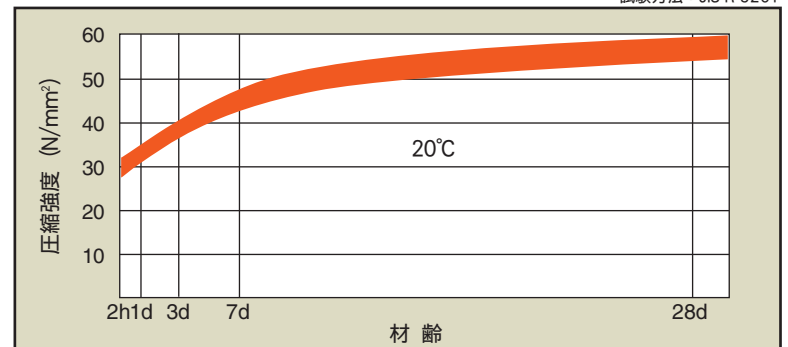
●流動性の経時変化

試験方法：JSCE F541-1999



●圧縮強度試験結果 (グラウト材単体)

試験方法：JIS R 5201





充填前



充填状況



施工後状況



施工後状況



車両編成および混練プラント

バラストパッカーの使用例

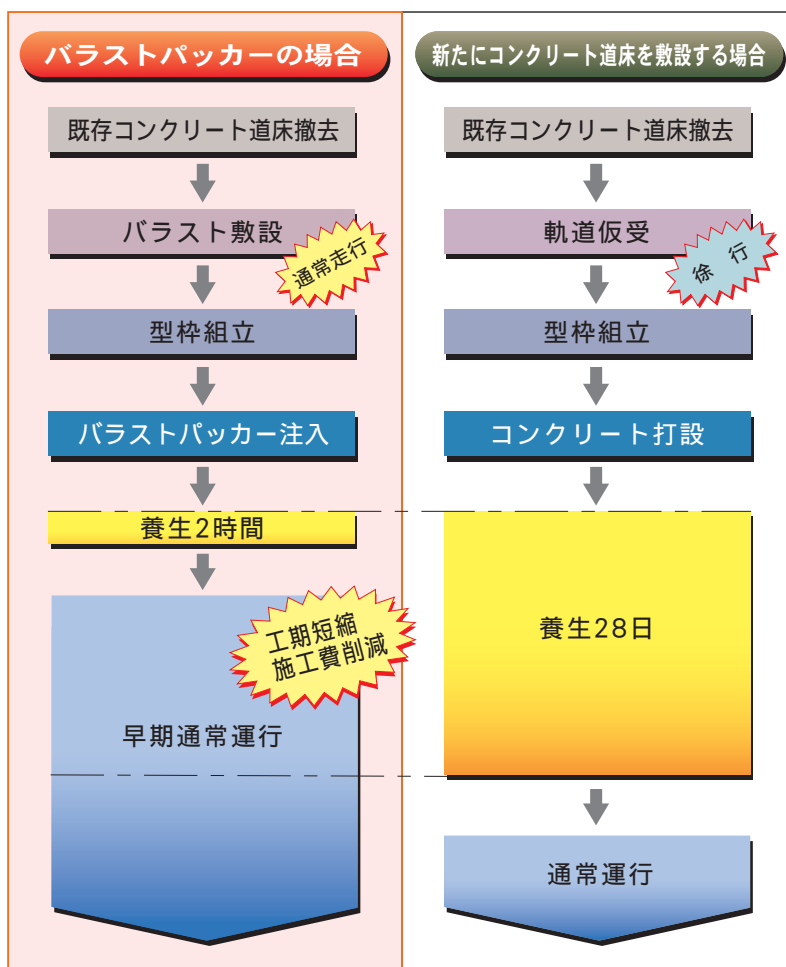
バラストパッカーは、補修工事におけるバラスト道床のバラスト交換コストを削減するだけでなく、既存のコンクリート道床交換時における敷設工事においても威力を発揮します。

1. 既存バラスト道床に充填する場合

バラストパッカーをバラストに充填するだけでバラストの耐摩耗性が向上し、以後のメンテナンスが大変楽になります。

2. 既存コンクリート道床を交換する場合

既存コンクリート道床をはつり取り、バラストを敷設します。その後バラストパッカーを充填するだけでコンクリート道床同等のプレバックドコンクリート道床になります。バラストパッカーを使用したプレバックド工法により、施工開始時期から軌道仮受が不要で通常走行が可能となります。また、施工費の削減、工期の短縮に貢献します。



バラストパッカー使用上の注意事項

- バラストパッカーの凝結時間は出荷時にある程度調整しておりますが、更に作業時間を確保したい場合には別売り遅延剤を使用してください。なお遅延剤は事前に混練水中に溶解させて使用してください。
- 硬化過程時、急激な水和熱反応により発熱しますので、十分注意してください。

物性値の詳細については、当社試験成績表等をご参照ください。
 使用および取扱いの前に、当製品の安全データシート(SDS)をお読みください。
 本カタログの記載内容については、予告無しに変更する場合がありますので、予め御了承願います。

取り扱い上の注意

- 本製品は強いアルカリ性を呈し、目、鼻、皮膚等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
- 作業時には、保護手袋、防塵マスク、防塵眼鏡等を必ず着用してください。
- 目に入った場合は、きれいな水で十分に洗眼し、直ちに専門医の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、きれいな水で十分に洗い流してください。

住友大阪セメント株式会社 建材事業部

東京 〒102-8465 東京都千代田区六番町6番地28
 大阪 〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-4(アクア堂島東館15F)
 札幌支店 〒060-0003 札幌市中央区北3条西2丁目(札幌HSビル10F)
 東北支店 〒980-6003 仙台市青葉区中央4-6-1(住友生命仙台中央ビル(SS30)3F)
 北陸支店 〒920-0849 金沢市堀川新町2-1(井門金沢ビル7F)
 名古屋支店 〒450-0003 名古屋市中村区名駅南2-14-19(住友生命名古屋ビル3F)
 四国支店 〒760-0033 高松市丸の内4-4(四国通商ビル6F)
 広島支店 〒732-0827 広島市南区稲荷町4-1(広島稲荷町NKビル7F)
 福岡支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-2-5(紙与博多ビル8F)

電話 03(5211)4752 Fax 03(3221)5624
 電話 06(6342)7704 Fax 06(6342)7708
 電話 011(241)3901 Fax 011(221)1017
 電話 022(225)5251 Fax 022(266)2516
 電話 076(223)1505 Fax 076(223)0193
 電話 052(566)3202 Fax 052(566)3273
 電話 087(851)6330 Fax 087(822)6870
 電話 082(577)7645 Fax 082(577)7646
 電話 092(481)0186 Fax 092(471)0530

本製品に関するお問い合わせ・ご用命は